



東京部会(第 105 回)

日時:	2018 年 12 月 25 日 (火) 17:00-18:50
場所:	慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446 号会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 加藤一誠(慶応義塾大学)、竹内大輔(稚内養護学校)、杉田孝之(千葉県立津田沼高校)、岸香おり(ICU高校)、藤巻朗(目黒学院中・高)、杉浦光紀(都立井草高校)、中山義基(京都府立園部高校)、星典男(鎌倉市立手広中学校)、中沖栄(清水書院)、鈴木深(東京証券取引所)、岡部ちはる(東京証券取引所)、新井明(上智大学非常勤講師)、中村知誠(慶應義塾大学)以上13名。

1 報告事項・事務連絡

「春の経済教室」in東京の取組み状況が報告された。

- ・プログラムはネットワークHPにアップされている。ちらしは、東証の協力で関東周辺の学校に11月中に送付され、すでに申込者がでている。年明けには、高校、中学の研究団体への案内の依頼、後援の申請など情宣活動を行う。
- ・プログラム内容のうち、高校の実践報告二つ(大阪府立三国丘大塚先生、都立井草高杉浦先生)に関しては、12月28日に東西の交流会をひらき検討する。

2 参加者からの報告・教材提案関係

(1) 12月22日(土)に行われた「全国公民科・社会科教育研究会授業研究会研究集会」での杉田先生の実践報告と当日の参加者からの意見交換があった。

- ・杉田孝之先生(千葉県立津田沼高校)からは、当日は、労働問題の弁護士、労働政策研究の研究者、大阪の反貧困学習での実践事例、それと杉田先生ご自身の労働の授業の実践例が報告されたことが紹介。
- ・杉田報告では、ブラック企業と非正規問題に焦点を合わせた授業と生徒の反応を紹介したことが紹介され、当日参加した岸、中山、杉浦の各先生からの当日出来なかった質疑、感想をうけた。
- ・同じく当日参加した新井から、実践報告のなかでのロールプレイ、自校生徒卒業生の事例のストック、椅子取りゲームなどのアクティビティが経済の学習を進める上でも参考になるのではというまとめが行われた。

(2) 杉浦光紀先生(都立井草高校)より「行動経済学の知見を活かす『公共』の授業に向けて」の報告があった。

- ・これは、高校2年生対象の「倫理」の授業でおこなった「経済人と規範意識ーアダムスミスの人間観から問い直すー」の改良版の実践報告である。
- ・授業では、最後通帳ゲームと独裁者ゲームの復習から行動経済学を紹介し、アダムスミスの原典資料からその人間観を考えさせ、さらに「保育園の遅刻」を例に基本意識と金銭的インセンティブの関係を考えさせ、その解決策を考察するという流れの授業である。
- ・検討では、個々の素材(ゲーム、原典利用、遅刻問題)は興味深く、実践に役立つ事例になっているが、授業全体に何をねらいとするかがまだ明確にみえないという意見が複数出され、28日の検討会でさらに改良を加えることになった。
- ・また、行動経済学の知見を活かすという点が先行していて、授業で行われているアンケートの設計やねらいなど研究と実証の関係が十分に自覚されていないので、やってみたらおもしろいなあという程度のもになってしまっているのではないかという点も指摘された。
- ・新科目「公共」では見方・考え方が重視され、資料の読みとりも重視されているので、その意味では「公共」の授



業に向けての参考になるのでは指摘もあった。

- ・関連して、大阪三国丘高校の大塚雅之先生が12月1日の大阪部会で紹介された授業実践の報告資料が配付され、その概要が新井から報告された。

### 3 その他の報告

(1) 第二次経済学寺子屋の報告が新井から行われた。

- ・東京部会の有志でおこなっている勉強会(陰謀会議・経済学寺子屋)での第二次経済学寺子屋の第4回「ゲーム理論と現代経済学」のレジュメとこんなことをやっているという紹介が資料と共に行われた。
- ・現代の経済学では、個別の意思決定論、二人の間の意思決定でのゲーム理論、複数間での意思決定としての市場理論という形で体系の整理がはじまっていること、高校教科書などではいきなり市場理論が紹介されるがその前の段階にも注意を払う必要があること、ゲーム理論で読み解ける事例をたくさん集めておくことなどが経済学寺子屋で紹介されたとの報告がなされた。

(2) 「続・高等学校公民科教員の研究―第2回アンケート調査の結果分析から―」が紹介された。

- ・これは、浅野忠克・山岡道男・阿部信太郎先生の調査研究をまとめたもので、1589名の全国の公民科教員の実態調査である。特に、経済に関して教えにくい項目やその自由記述に関しては、ネットワークの活動の参考になるデータとなっている。
- ・ちなみに教えにくい項目としてあがっているのは、国際経済、国民所得、金融がトップ3である。これらの領域の考え方、教え方、教材の提供などがネットワークとしても課題となるであろうと指摘があった。

(3) 19年「夏休み経済教室」の日程が確認された。

- ・大阪 8月5・6日(国民會館)5日は中学、6日は高校
- 東京高校 8月8・9日(東証ホール)
- 東京中学 8月19・20日(東証ホール)である。
- ・プログラムに関しては、3月をメドにワーキングチームを作り原案を検討作成する取組みをしたいという提案が新井からあり、検討することになった。

### 4 まとめ

- ・今回は、冬休みの初日となったこともあり、札幌部会、大阪部会からの参加者を迎えての東京部会となった。
- ・終了後、別会場で、部会には参加できなかった篠原代表やネットワークメンバーを加えて、忘年会を開催、情報交換と懇談を行った。

(記録と文責、新井)

次回の開催予定、2019年1月29日(火) 及び、2月27日(水)いずれも19:00~21:00、会場は慶應義塾大学三田キャンパス内会議室を予定している。